

# 生徒に英語の学力をつけるために

松江北高校 八幡成人

1. 生徒に英語の学力をつけるために、我々英語教師に今何ができるのか、に関してお話しをさせていただく機会があった。<sup>(1)</sup>そこで取り上げたのは、以下の10項目であった。

- (1) 現状の学力分析・・・「何が強い?」「何が弱い?」「学力で特徴的なことは何か?」をチームで分析・検討
- (2) 中学校の基本事項の徹底的な復習、中学校との連携
- (3) 「勉強の仕方」を徹底して指導すべき・・・「学校は勉強する所ではない。勉強の仕方を学ぶところである」
- (4) 試験の徹底した見直しに学ぶ～賢者は歴史に学ぶ
- (5) 基本は単語力、生徒が一番苦勞するのも単語だ!
- (6) リスニング力は短期間では伸びない! 3年間を見通した徹底したドリル計画の必要
- (7) 個々の学力に応じた指導・・・個別添削指導、上位者指導、遅進者指導
- (8) GTEC、英語検定の活用
- (9) 学校の実情にあった自主教材・実力テストの開発
- (10) 3年間を通した展望・計画を!

島根県の学力低下が叫ばれているが(センター試験平均点は2008年47都道府県中41位、2007年45位)、英語はその張本人でもある。果たして上記のことがどれだけ指導できているのか?

2. この10項目に関して松江北高での指導で効果があったと思われることについて、述べてみたい。

- (1) の学力分析については模試の度に検証をチームですること。弱いと分かった時点でチームで対策を練ること。これの繰り返しである。やりっぱなしが一番たちが悪い。
- (2) 松江北高では50枚の「中学校復習プリント」を用いて、スムーズな橋渡しを心がけている。中学校と連携してどのような指導が行われており、何が問題点かを熟知して指導にあたらなければ効率的な指導はのぞめない。松江市では「松江市英語教育推進委員会」を立ち上げてこの問題に取り組むことになった。
- (3) 例えば予習・復習の仕方、辞書の引き方、ノートのとおり方、評論文の読み方、説明問題の解き方、要約問題の取り組み方、空所補充問題の解き方、内容一致問題の解き方、語句整序問題の解き方等々、「やり方」を見せた後で練習をさせれば、生徒達に自学自習の力をつけてやるのが可能である。センター試験対策であれば、第1問題から

第6問題まで、「勉強の仕方」を教えておいてやれば、本気で演習が始まった際にどんどん点が伸びていく。私が解説した『重要問題演習英語』（ラーンズ）が飛躍的に部数を伸ばしたのはこの勉強の仕方を分かりやすく提示したことによる。今年の北高の3年生は、2年生時の土曜補習（13回）の10分程度を用いて各設問の勉強方法を指導した。たったこれだけでも、マーク模試の点の出方が大きく変わってくる。

（4）「模試の見直しをしなさい」とはよく言う。だが、何をどう見直せばよいのか？何をどのようにやるのか、「やって見せ、言って聞かせて、させて見て、ほめてやる」。北高では記述模試、マーク模試が終わる度に、見直しのポイントを明示したプリントを用意して、「解法のツボ」に慣らしていく。手間はかかるが、一番効果がある。模試を細かく見て自分で解いてもいない教員が多いとは思いたくはないが、「島根大学の問題を用意していかないと、島根県の先生とは島根大学の入試問題の話ができない」というある営業の方の言葉をどう受けとめたらいいのか。

（5）英語の学力の8割までは語彙力。ならばどうやって効率的に覚えさせるかは工夫が必要である。棒暗記・根性論では大学・社会に出てから通用しない。北高では『音読英単語』入門編、必修編を計3回繰り返す。今は全範囲で授業の冒頭に小テストを繰り返す。併行して14個の接頭辞を押さえ、後は重要な語幹を一つ一つ押さえていくことで、大学へ行ってからも、就職してからも勉強を続けることができるように種をまいておく。北高の昼休み午後1時には、全部で150枚の語幹プリントの1枚を求めて毎日職員室前には行列が出来る。

（6）1年生から毎時間短時間のリスニングを課す。定期考査でも必ず10分程度のリスニング問題を含める。簡単なものから少しずつ程度を上げていく。「つながる」「消える」「変わる」にどうやって慣れさせていくか長期の計画が必要である。センター試験のリスニングでは、各問題の狙いとツボを押さえながら、毎時間演習を繰り返す。<sup>(2)</sup>まさに「継続は力なり」である。インターネット上にはリスニングにうってつけの教材がころがっており、一覧にして生徒に示している。<sup>(3)</sup>

（7）北高の図書館には200冊以上の（語彙制限された）洋書が入れてあり、生徒たちは自分の英語力と興味に応じて、借りては速読を練習している。これは確かに効果があった。上位者には個別に添削を行い、どんどん上を目指させている。遅進者を毎週集めて下位学年の模試問題を解かせたこともあった。

（8）GTECのデータは使いようによっては、大変有用である。定点観察することで伸びの状況も正確に把握できる。2年前から学校実施している英語検定も実はセンター試験問題と酷似しており（比較してみられたい）、効果絶大である。

（9）例えばセンター試験対策として、『対策本』<sup>(4)</sup>を発行して生徒の勉強に役立てている。要約問題、二次対策問題も独自に問題を編集して特別授業で生徒たちに提供している。作るのは大変だが（特に解答解説）一度作っておけば、年々改訂をして使いやす

いものに進化させることができる。北高の校内模試は、問題の質、およびその詳しい解答解説には定評のあるところである。各学年で作った全ての教材、資料が校内ランで共有され、いつでも利用できる体制が作られている。また、イグザム（2000年～2008年）がパソコンに常備されており入試問題にアクセスが容易である。

（10）いきあたりばったりの指導では力がつかない。設計図のない建築物などあり得ない。3年間を見通して、これだけのことを教えきるという長期スパンでの計画性がある。初めて、効果的な指導が可能である。<sup>(5)</sup>例えば読解指導一つとっても、私は3年間で次のような項目を順次教えていく。文法指導、作文指導、リスニング指導などに関しても同様のものが当然なくてはならない。

---

## 英文読解八ちゃんの法則

2008年12月現在

1. 英語の力は読んだ英文の量に比例する
2. 英語の力は引いた辞書の回数に比例する～ひたすら辞書を使い込め！
3. 単語の記憶は英語学習の80%
4. 音読するためにフォニックスの基本
5. アクセントの基本法則（例）双子の法則 三味線語ルール イクイクルール  
ヤンヤンヤスヤントヤリテエの法則 子チビ母チビの法則
6. 英語と訳語は「1対1」ではない！
7. 英文の区切り方～意味のかたまりを意識せよ
  - ① コンマの後
  - ② 動詞の前後
  - ③ 前置詞の前
  - ④ 関係詞の前
  - ⑤ 接続詞の前
8. 直読直解方式の読みをマスターせよ～同時通訳の心だ！左から右へ順に読め！
9. テーマ発見のテクニック
  - ① 段落の最初と最後は要注意！
  - ② Butの後（筆者の主張）は要注意！
  - ③ 疑問文（問題提起）は要注意！
10. 1パラグラフ1トピックの原則 1つの段落で言いたいことは1つだけ  
書き出しにテーマ 最終文は次のパラグラフの予告・橋渡し
11. 英語の基本は「主語＋動詞」～家政婦は見た！
12. 「抽象」から「具体」の原則～英語らしさの本質
13. 英文展開の基本パターン  
主題の提示 → 主題の展開 → 主題の再提示（結論）
14. 二項対立（対比）に注目～一般論vs筆者の主張
15. 情報構造の原則 「旧情報」から「新情報」へ  
旧情報（既知の情報）＝お互い了解済みのこと→なるべく前に置く  
新情報（重点情報）＝相手が知らないであろうこと→なるべく後ろに置く
16. スキミングとスキヤニング
17. 文脈とは？未知の語句は文脈から類推せよ！
  - ① 言い換え
  - ② 具体例
  - ③ 因果関係
  - ④ 対比
18. コンマ、ダッシュ、コロンのセミコロンにも注意せよ

ー (ダッシュ)・・・前の説明・例示

: (コロン)・・・前文の補足・説明・具体化

; (セミコロン)・・・接続詞の代用＝対比と理由

19. 「並列」は同じ物が並ぶ (and, but, or, so, for) → and (等位接続詞) が出たら何と何を結んでいるかを確認

20. コンマ1つはそこが切れ目、コンマ2つはその部分を飛ばして読め

21. 指示語に注意～指すものは直前にあり、日頃から絶えず意識しながら読め

22. 「つなぎ語」に要注意

① 逆接 (⇔) ② 因果関係 (→) ③ 追加 (+) ④ 言い換え (=)

23. 英語は同じ単語を繰り返さずに、似た表現に置き換える

筆者の主張したい重要なポイントは言葉を変えて繰り返される(「リフレインが叫んでる」)

24. 「原文典拠の法則」

解答は必ず本文該当箇所をベースにして→該当箇所の発見&正確な解釈が全て

25. 5W1Hの法則～物語文読解の鉄則

when (いつ) where (どこで) who (誰が) what (何を) why (なぜ) how (どのように)

26. 筆者の「主張」を示す表現は？

① should/ must/ 強調の do などの助動詞

② important/ necessary/ essential などの形容詞

③ I think [suppose] / I believe / I'm sure / I hope [wish] / In my opinion / As for me / As far as I'm concerned など自分の見解を述べる表現

④ 逆接 (but/ however) の後

⑤ in fact/ actually/ indeed などの副詞 (語句)

⑥ 「例えば」「なぜなら」「第一に」の直前の英文

27. 「無生物主語構文」は副詞的に「～で」と訳せ～「出川の鬼」(佐川春水)

28. 簡単な単語をおろそかにしない

29. 多義語に注意

30. 「名詞モード」から「動詞モード」へ

31. 表現 (単語・熟語・構文) の「言い換え」によるカモフラージュに注意!

32. 「すり替え」のパターンを知れ

① 人物のすり替え

② 肯定・否定のすり替え

③ 時間・場所・頻度の副詞要素のすり替え

④ 数のすり替え

⑤ 因果関係のすり替え

⑥ 条件関係のすり替え

⑦ 過度の一般化と過度の限定 (極端キーワード)

⑧ 事実と比喩のすり替え

⑨ 前半○後半×のパターン

⑩ 故意の取り違え

33. 消去法の活用

34. プラス・マイナスのイメージに注意

35. 省略は前と比べよ～重複部分を省略

36. 「同じ」「違う」「別の」は指示語の一種→「何と同じか」「何と違うか」「何と別か」を必ず

## チェック

- 37. ヒントは前後に必ず落ちている
- 38. 単語の意味はイメージでつかめ!
- 39. 単語の記憶は「へん」と「つくり」で
- 40. 「接頭辞」と「接尾辞」で派生語を押さえる!
- 41. 自分の日本語訳を読んでよく分からなければ間違っている証拠だ!
- 42. まず設問から読む習慣を
- 43. 内容一致問題は「部分把握型」か「展開把握型」か?
- 44. 答え方に注意

「～はどういうことか説明せよ」→「～ということ」

「～はどういう考えか説明せよ」→「～という考え」

「～の理由を述べよ」→「～であるから」

- 45. 字数制限に注意～答案の目安は制限字数の8割～9割

多すぎる場合⇒余分な情報が入っている

少なすぎる場合⇒見逃している箇所がある

- 46. 裏技10本～「八幡家の食卓」 (例) 長さの法則 仲間外れの法則 極端の法則
- 

3. 最後に、生徒の力は教師以上には伸びない。ならば教師が絶えず勉強し、高い壁でありたい。in fact「実は」、after all「結局」、be willing to「喜んで～する」、keep early hours「早寝早起きする」、be familiar with「よく知っている」、What's the matter with you?「どうなさったのですか」といった誤った訳語が、まだ依然として現場にははびこっている。

先日も教材に出てきた The sky is the limit. という成句が、学習辞典には判で押したように、「(特に金が) 制限なしである」「(金額に) 上限がない」「(費用などが) 制限なしである」「(費用などについて) 無制限である、天井知らずである」と、金額について用いているのにはどんな背景があるのか。調べてみると面白いことが分かってくる。「(人に) できないことはない」という訳語が優先されなければならない。

## [注記]

- (1)岡山県英語指導研究会、2008年8月1日、ベネッセ中四国支社
- (2)「平成21年度センター試験英語ココがツボ!」
- (3)「いい教材リスニングこれを聞け!」(2008年11月)
- (4)「2008年版センター英語対策本」(改訂7版)3年ぶりに改訂したが、島根県内外から沢山の請求があり、嬉しい悲鳴をあげた。学校一括で使っていただいた学校もある。2年生から学年全体に持たせたいという学校もあった。
- (5)松江北高各学年シラバス